

愛道

あいどう

第133号

2020 令和2年1月

社会福祉法人
足羽福祉会

共に生き 共に集う 光を求め

注目記事

あすわのたねを育てよう

[取組レポート] 足羽学園・あすわ地域生活支援センター・足羽利生苑

新年のごあいさつ

～人を支える人を育てること～



社会福祉法人足羽福祉会
理事長 高村 昌裕



新年明けまして

おめでとうございます。

皆様にとって、新しい時代となった令和元年はどのような年だったでしょうか？

大地震や酷暑、豪雨、台風といった自然がもたらす脅威の前に、全国各地で多くの方々の生活が脅かされ、犠牲者も出てしまいました。そのたびに助け合いの活動が起きることに、私は「人の支え合いの力」の強さを感じました。

またラグビーワールドカップでは日本代表が初のベスト8進出を実現しましたが、快進撃の背景に、いろんな国の人たちを目標に向かって団結させていくために、ヘッドコーチやスタッフが取り組んできたプロセスを知り、人を育てることの大切さについても考える機会となりました。

近年さまざまな技術革新

が進み、コミュニケーション

や仕事の仕方も大きく変化してきていますが「人がどう考え行動するか」が最も重要であることに変わりはないようです。私たち福祉に取組む者にとっては「人を支える人をどう育てるか」が、誰もが安心して過ごせる福祉社会の実現に欠かせない取り組みであるということです。

去る12月1日に、当法人は第11回サービスマス実践報告会を開催しました。私たちが日頃、保育、発達支援、生活支援、就労支援、介護といったさまざまな現場で取組んだことを発表し、多くの方々を知っていただく機会として、他法人の発表も加えた計12の事例報告を行いました。

この取り組みは足羽福祉会職員の人材育成にとっても二つの意味を持っています。

一つ目はうまくできたことだけを発表するのではなく、失敗や悩みも含めたプロセスを明らかにしていることです。

職員が利用される本人の思いや行動を十分に理解できずに壁にぶつかったり、チームで話し合いながら何度もトライしたりしたプロセスを丁寧に振り返ることを大切にしています。福祉の専門家としての成長は、知識の詰め込みでなく、現場での試行錯誤の積み重ねにあるからです。

二つ目は異なる分野の実践発表も互いに聞き合うことで、人の人生を支えることとの奥深さに触れることです。認知症が少しずつ進行する中でも在宅で生活し続けたい本人の気持ちに寄り添い、関係者みんなで協力して支えた実践報告では「老いを受け止める」とは、どういうことか」という人生の大命題を、

参加者全員が我がこととして考える機会にもなりました。

助言者の福井大学大学院の新井先生、小嵐先生、福井県医療福祉専門学校藤田先生からは、すべての発表に的確なアドバイスや多くの示唆をいただきました。改めて感謝申し上げます。

どんな時代になっても「人を支えるのは人」、それを仕事とすることに誇りと覚悟をもって、今年も役員一同、力を合わせて取り組んでまいります。何卒皆様のご支援、ご協力のほどお願いいたします。

ク レ 合 ニ ミ



毎年、体育館で行っていた恒例の「合同レクリエーション」が今年は台風による初の中止に。急ぎょ交流委員会で協議し、ちょうど1か月後の11月12日に縮小版を開くことになりました。その名も「**ミニ合同レクリエーション**」
当日は、利用者様62名、職員26名の総勢88名が参加し、ミュージックケア交流とユニバーサルスポーツで交流を深めました。初めての試みでしたが、お互いの距離が近くふれあいの多い交流でした。



目次 もくじ

- 2 新年のごあいさつ
- 4 みんなでなかよくのびのびと★… 足羽学園
- 6 ここがグループホームだよ！ ユニットつぐみだよ！
… あすわ地域生活支援センター
- 8 バスに乗ってどこに行こうかな？
… 足羽利生苑
- 10 あすわのたねを育てよう
- 12 ○展/足羽川ふれあいマラソンのお知らせ
- 13 法人からのお知らせ
- 14 愛のささえ



「表紙について」
職員とお茶をしにバスに乗って外出したときの一幕です。買い物もして職員と話しています。「暖かくなったらまた行きましょう☆」
(足羽利生苑 高橋)



みんなでなかよく のびのびと★



おいしくなーれ!!



おでかけたのしいね!!



8番
らーめん
来ています★

建て替えから1年半がたち、小規模ユニットケアでの療育や活動の様子、職員の大切にしていることなど笑顔いっぱいな日々の活動をご紹介します!!

その子らしさを 育む療育

子どもたちは日々生活していく中でそれぞれのペースで成長しています。私たち職員は成長を感じられるその瞬間に立ち合える喜びを日々感じていきます。その中で子どもとの信頼関係を築くため大切にしていることが「ほめる・認める」です。

成長したことに対して「すごいね!」「上手にできたね」「かっこいいね★」などと声をかけると同時に拍手やハイタッチなどを行い、子どもたちがわかりやすい形でほめたり、認めたりすることで自己肯定感が育まれるように療育に取り組んでいます。

そこに至る過程では、子どもたちはたくさんつまづくこともあります。そんなときは結果だけをみるのではなく、がんばった過程を認め、プラスの声かけを行っています。



大切にしているもうひとつの視点として「自分のことを自分で決める」があります。お出かけの行先やおやつ作りなどのメニューを決める際にはイラストやカードなどを準備し、選択することとで子どもたちが自分の意志で選んで参加できるようにしています。子どもの意志を尊重しながら自分のことを自ら決めていくことで将来的な生活スキル向上にもつながっていくと考えています。





HALLOWEEN

ハロウィン☆
コスプレして
ハイチーズ



手作りの
こいのぼり!!

そうめん
いくよー!!

おいしい!!
たのしい!!



野菜作り!!

苗植えから食べるまでを経験しています。

家庭的な雰囲気★

障がいがあっても家庭で経験できるであろう子どもらしい日常を提供できる施設でありたいと考え、家庭的な雰囲気与生活してほしいと願い、職員間で意見を出し合いながら活動の設定や組み立てをしています。

生活の中で必要な物品や学校で使用する物、ごはん作りやおやつ作りで使用する材料などを地域のショッピングモールやスーパーなどに子どもたちといっしょに買い物に出かけたり、近くの公園や外食にもユニットごとに出かけています。

また、季節を感じていただくという手作りのこいのぼりを作ったり、流しそうめんを行ったり、ハロウィンに仮装をしたりと季節ごとの行事を考え、みんなで楽しんでいきます。

入所の理由は、さまざま



障がいがある子どもたちにとっても家庭的な雰囲気づく中で生活し、すぐ近くに職員がいることで子どもたちの気持ちに気付き、寄り添うことができるかわりの中で、信頼関係を築いていきたいと取り組んでいます。

子どもたちの笑顔を見ても「笑顔を引き出したい」という思いが生まれ、仕事への活力になっていきます。

ユニット化された足羽学園についてインタビューしました。

★光仙課長

子どもたちが家庭的な雰囲気なのか、食事やおやつ作り、掃除や洗濯のお手伝いをがんばるなど、自分で生活しているという実感ができるようになったと思います。

☆河野指導員(リーダー)

少人数での生活となったため、子どもたち一人ひとりとかわる時間が増え、子どもたちとの距離がぐっと縮まり、今までよりも家庭的な雰囲気生活できるようになりました。

これからも子どもたちがいるような経験を積んでいけるように、職員みんなで考え支援していきます。



ここがグループホームだよ！ ユニットつぐみだよ！

障害者支援施設足羽更生園から男女14名の方が地域移行を行い、グループホームあすわでの新生活を始めました。

移行当初は、初めての生活場所・慣れないことばかりで戸惑いしかありませんでしたが、半年経った今では、新しい生活にもだいぶ慣れ始め楽しそうに生活しています。

また、個々に行きたい場所や買い物へ行く個人外出、みんなで外食などへ行くグループ外出など、新しい生活でいろいろなことにチャレンジしています。

今回は、その中のひとつである女子ユニット【つぐみ】の紹介をします。

グループホーム 移行後の様子

グループホームあすわのユニットつぐみは女性6名の利用者の方が現在生活しています。

移行当初は今まで生活してきた場所とは全く違う環境ということもあり、不安な表情をしながら過ごすことも見られました。初めての世話人や職員に自分のことを理解してもらえないのか心配だったのかもしれませんが。

日中活動先も、移行するにあたり3か所になりました。出発時間が違い、活動場所から戻る時間もバラバラなので、本当に帰ってくるのが不安になり、まだ帰らないのかと大きな声が出た方もいました。

それでも、足羽更生園での大人数の生活とは違い、少人数での生活になったことから、利用者の方一人ひとりの思いを聞き、対応することに取り組みました。

生活をしていくにつれ

少しでも不安なことが軽減できるように、支援に入る職員の視覚情報を作成したり、スケジュールを提示したりしました。また、利用者の方一人ひとりとコミュニケーションを取り、利用者の方が安心して生活できる環境作りを行いました。そのこともあつてか、徐々に利用者の方から不安な表情はなくなっていきました。

日中活動の送迎時にも「お迎え来たよ！」と声を掛け合っています。新しい職員や世話人にも慣れ「あした遅出か」「ごくろうさん」などと、言葉をかけてくれる利用者の方もいらつしやいます。食事も職員が皿に盛りつけているのを、そばで見ることができ「おいしそうや」「ごちそうさま、ありがとう」など笑顔で言葉をかけてくれます。

楽しいイベント たくさん♪

グループホームで生活するにあたって、利用者の方が楽しく過ごせるように、お菓子作りや食事作りをしたり、天気の良い日は公園に出かけたり、散歩に出かけるなど利用者の方と一緒に過ごす時間を大切にしています。



みんなで
式部公園まで
ドライブ♪

また、利用者の方一人ひとりに、何がしたいか、どんなことがしたいか、困っていることはないかなどを確認するために、月に1回自治会を行っております。利用者の方から出た意見を参考にし、外出先を整えるようにしています。



お好み焼き作り(^^)/



ぶどう
狩り♪

秋口には自治会で「ぶどうがたべたいわ〜」という言葉が聞かれたので、ぶどう狩りを体験してもらおうと職員で話し合い計画しました。初めての遠出の外出ということ、ぶどう狩りに出掛ける事を伝えると、笑顔で「いくんか!」とうれしそうにしていました。外出当日になり、現地に到着すると、大きなぶどうを見て「ぶどうや!」と笑顔で伝えてきて、利用者の方みんなでぶどうを取って、食べて、楽しい一日を過ごしました。

まとめ

新しく誕生したグループホームというと、フレッシュなイメージがありますが、このユニットつぐみは平均年齢58.2才です。決して若くはない彼女達が、長い施設生活から地域移行を決めた理由は、先に地域移行した人達が誰も施設に戻られず、次は自分もその場所に行きたいと願った方、いずれは老人施設に行くかもしれないけれど元気なうちに家庭的な環境でいろいろな体験をしてほしいと家族が願った方などさまざまです。

その思いをしっかりと受け止め、つぐみでの生活が穏やかに過ごせるようにスタッフ一同取り組んでいます。

グループホームあすわ
ユニットつぐみ
管理者 吉村宜利子

バスに乗って どこに行こうかな？



苑の目の前がバス停です

足羽利生苑の地域密着型ユニットでは、月に1、2回ほど公共のバス（酒生いきいきバス）を利用して外出をしています。酒生いきいきバスは、地域の交通手段として運行しており、平成27年10月1日には足羽利生苑前にバス停が設置されました。バス停が設置されてからは、毎月、利用者の方と外出しています。体調を考え、暖かい時期の4月から11月までの間で実施しています。

4年前の愛道122号でもご紹介しましたが、それ以来現在も続けている活動のひとつです。

今回は利用者の方と外出したときの様子を詳しくご紹介します。



運転手さんが手伝ってくれています

地域との交流

入居利用者の方は、いつも室内で生活していることが多く、外に出る機会があまりありません。外出時には外の空気や気温を感じることで、季節感を味わっていただくことも目的としており、外に出ると日差しを感じて「暑いな、眩しいな」などと言われます。

バスに乗るときは運転手の方が降りてきてくださり、車椅子のまま利用者の方を乗せてくださいます。声掛けしながら手伝ってくださるの



「今からどこ行くの？」

で助かっています。ときにはバスに乗っている地域の方から「どこまで行くんですか？」などと声を掛けられ、話が弾むこともあります。その時の様子を見て、地域の方と交流していることが実感できます。



外出先での様子



バスは済生会病院やその周辺の何か所かに停まるので、病院内のスターバックスコーヒーや近くの喫茶店に行くことが多いです。

ふだん飲めないような甘いコーヒーやケーキなどが食べられるので「おいしい」と口に運んで食べています。周りに他のお客さんがいる中で、いつもと違う場所での食事をするのが新鮮に感じている様子でした。



あれ欲しいなー!!

病院内での買い物

おいしそうなケーキ☆



甘い!!



何を飲もうかな…♪



毎月バスを利用した外出を計画するのは大変ですが、外に出る楽しみを持っていただけるよう職員同士で「今回はどの利用者の方と行こうか」「どこに行こうか」と相談しながら決めています。車椅子のまま乗車できるので寝たきりの方でも行くことができます。施設にいなから公共交通機関を利用して外出することは珍しく、利用者の方にもうれしいです。「おいしかった」などの声が聞けるよう、今後もこうした取り組みを続けていきたいです。



2. 研修による人材育成

目指す職員像、思いを達成するために

足羽福祉会は「接遇」に力を入れています。そこで、本年度より中途採用職員や立場の違う多様な働き方の職員を対象に、新任職員同様「足羽福祉会の職員像」を学ぶ機会を設けました。

なお、研修では、どんな職員になりたいのか、「ふくし人」としての人物像についてそれぞれの思いを発表、「接遇の木」として表現しました。



法人の「接遇の木」 新任職員研修時の花(濃いピンク)と合わせてより大きく開花しました。



法人が誇る、接遇トレーナーが中心となり、全力で研修を行いました！



笑顔いっぱいの研修となりました！

受講者の声

接遇とは何か、接遇の重要性など仕事に役立つことを学ぶことができました。一人ひとりの接遇が福祉会全体の印象となることを忘れずに仕事に取り組んでいきたいです。

足羽東こども園 竹内保育教諭

3. 新しい人事管理制度

職員一人ひとりが成長、やりがいを感じることで目指して

新人事管理制度策定にむけて、平成30年7月よりプロジェクトチームを結成。メンバーは児童・障がい・高齢分野、法人本部の若手職員から管理職まで幅広い職員層で構成され、監査法人トーマツ様をコンサルタントに迎え、全29回にわたり、「等級」「評価」「報酬」の3項目に分け、協議しました。

令和元年10月に新人事管理制度「あすわーず」という名の元、素案が完成し、11月に理事会にて承認されました。令和2年度運用にむけて、制度の周知方法等を含めて最終調整中です。

プロジェクトメンバーの声

「あすわーず」には、職員のたくさんの想いが詰まっています。現状の課題や今後の展望について協議を重ね、足羽福祉会らしさにこだわった仕組みができました。

この新制度に移行することで、これまで以上に職員の頑張りが評価され、誇りとやりがいをもって働けることを信じてやみません。

足羽利生苑 吉田相談員



プロジェクト会議の様子



あすわーず 職員ハンドブック

これからの育成にむけて

中期計画の策定はプロセスそのものが「人づくり」に。中途採用者等への教育研修はよりリアルタイムな「組織づくり」に。そして「ここで働くのが1番」と思っていたいただけるような人事制度が形となり、令和時代の“あすわの芽”が出始めたと思っています。

この“水やり”をトップダウンまたはボトムアップに偏ることなく協働し、双方向のコミュニケーションをおさなりにせず、よき職場風土づくりと共に育成を図っていききたい。

法人本部事務局 課長 安田昌浩

あすわの たねを 育てよう

現在、法人理念の具現化のため、今後10年にわたる長期ビジョン「ASUWA2030(仮称)」の策定について、施設長会議等にて協議を重ねています。
以下に、そのビジョンの中でうたう「あすわのたね」を育てるため、取り組んできたことをご紹介します。

長期ビジョン ASUWA2030 (仮称)

- 1 住み慣れた地域で「自分らしく」生きることへの実現
- 2 共生社会に向けた持続可能な地域、社会のための行動
- 3 成長し、支え合い、笑顔あふれる職場にする働き方改革

1. 中期計画の策定

3年後のあるべき姿を明確に

中期計画は3年毎に策定され、第4期にあたる令和2年度に向け、昨年8月に協議を開始、同年12月に終了、理事会での承認を経て第4期中期計画が施行されます。

本計画では、3年後のあるべき姿を明確にするため、拠点毎に経営課題について、SWOT分析を行って協議しました。その上で、課題を明確化、課題に対する行動計画をそれぞれ掲げています。

SWOT分析とは？

4つの項目(右図参照)に分けて一人ひとりが自由に意見を出し合った後、その結果を基に課題をとりまとめ、それを具体的行動計画につなげるものです。

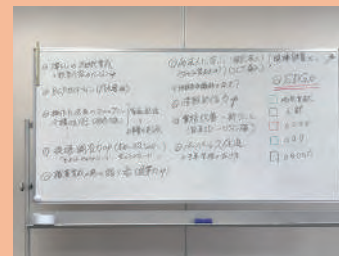
SWOT分析の4項目

S
強み

W
弱み

O
機会

T
脅威



ホワイトボード等を使って課題を抽出しました。

職員の意見を集約 (取り組むべき目標は何か?を皆で考える)

法人の歩む道筋を決める計画の策定に、経営者だけでなく職員が参画することは「職員の意思統一」を図ることができるとともに、個々の目標意識が高まることによる「モチベーションの向上」にもつながります。

～感じてほしい!これが僕の私の好きなこと!～

えんてん2019が
開催されました。



2年ぶりに開催された「○展(えんてん)2019」

足羽福祉会を利用されている障がい者の方による作品展が福井市美術館で開かれました。

多くの方々に「僕の私の好きなこと!」を「感じて」いただけたのではないのでしょうか。

2020年3月22日(日)開催! 9:30スタート

第8回 足羽川ふれあいマラソン

が開催されます



ランナー募集中! 2月3日(月)まで

ボランティアも大募集!

走って
社会貢献!

お問い合わせ

社会福祉法人 足羽福祉会内 足羽川ふれあいマラソン実行委員会

電話: 0776-41-3585 FAX: 0776-41-3199

E-mail: marathon@asuwafukushikai.jp

URL: https://www.asuwafukushikai.jp/fureai_marathon/

第8回 足羽川ふれあいマラソン
2020.3.22(日) (9:30 START) 雨天決行

走って社会貢献!
参加料の一部が障がい者スポーツ振興に!

ボランティア大募集!
ボランティアで大会に参加してみませんか?

ランナー募集中! 2月3日(月)まで

ボランティアも大募集!

走って社会貢献!

会場: 福井市木田小学校グラウンド
福井市木田1-1360

申込期間: 2019(令和元)年12月2日(月) ~ 2020(令和2)年2月3日(月)

ホームページURL: https://www.asuwafukushikai.jp/fureai_marathon/

検索: 足羽川ふれあいマラソン

法人創立記念表彰式



令和元年10月1日、法人創立記念表彰式が行われ、地域の方への感謝状授与、永年勤続表彰、職員特別功績表彰を行いました。



足羽ワークセンター 厨房工事が完成しました



一昨年から改修工事を進めていた「足羽ワークセンター」の厨房設備工事が10月に完了しました。
セントラルキッチン機能を備え、法人内外の食事提供が可能となり、あわせてHACCPの取得を目指します。

サービス実践報告会が開かれました

職員の実践事例を発表し合う「サービス実践報告会」。今年で第11回目となる報告会が12月1日(日)、福井県自治会館にて開かれました。総勢約160名の方が参加し、社会福祉法人光道園様、社会福祉法人藤島会様からの事例発表もあり、最後にはグループワークで意見交換・情報共有を行い、法人や施設を越えた新たな学びの場となりました。



九州北部豪雨および台風被害による義援金のご協力ありがとうございました

足羽福祉会では令和元年8月以降に起きた九州北部豪雨、台風15号被害、更には10月の台風19号被害について、災害援助の目的で各拠点に募金箱を置いた結果、法人全体で157,660円の募金が集まりました。

12月11日、当法人の高村理事長が福井県共同募金会を訪れ、高松康二専務理事に募金をお渡しいたしました。今後も社会福祉法人としてさまざまな支援を行っていきたいと考えています。



愛のささえ

ご協力ありがとうございました

令和元年8月1日から令和元年11月30日までの方々を掲載させていただきました。

〔法人本部〕
 (研修・実習・見学)
 社会福祉法人彩明会 三重県知的障害者福祉協会

〔寄付・寄贈〕
 株式会社西野商店
 (ボランティア・交流・訪問)
 福井県立図書館 上文殊小学校
 上文殊公民館やまびこ会 上文殊交通安全協会 上文殊地区社会福祉協議会 移動図書館フェニックス号 足羽第一中学校 サマーボランティア ロータークラブ

〔研修・実習・見学〕
 高畑愛莉 大味久恵 鳥居麗弥 高畑佑香

〔足羽ワークセンター・スマイルカラフル・足羽サポートセンター・パステル〕
 (ボランティア・交流・訪問)
 滝波礼子 野路純子 斎藤聖子 北陸高等学校 武井ゆり子 毛利帆花 齊藤和美 北野竜神太鼓 高橋雅子 上坂桂子 よさこい隊 ち組 桑島康郎

〔研修・実習・見学〕
 福井県立嶺北特別支援学校 福井県立南特別支援学校 福井大学教育学部附属特別支援学校 仁愛女子短期大学 福井大学 福井工業大学 仁愛大学

〔寄付・寄贈〕
 (ボランティア・交流・訪問)
 柳井和也
 (ボランティア・交流・訪問)
 キリスト教婦人矯 齋古里直哉 仙田詞愛 渡辺なな 和田七海 北川誠一

(研修・実習・見学)
 奥真優 坂井彩夏 岩見摩耶 吉田雅 仙田詞愛 渡辺麗範 神原裕貴

〔足羽ワークセンター〕
 (ボランティア・交流・訪問)
 大久保祐樹 大久保彰

〔寄付・寄贈〕
 (ボランティア・交流・訪問)
 尾谷隆雄 和田昌明 松川昭浩 佐々木みさき 波多野幸穂 橋本寛子 杉田美佐子 福井フェニックスライオンズクラブ

〔ボランティア・交流・訪問〕
 山本純子 近藤亜希 村北志保 源野京子 松山綱子 山下英子 齋藤明理 鈴木花歩 松倉亜希子 稲山恭子 鈴木香織 平野えり 船出めぐみ 萩原菜月 小倉実紅 足羽小学校 加戸小学校 翠野中学校 啓蒙小学校 社北小学校 有終西小学校 神明中学校 至民中学校 仁愛女子高等学校 羽水高等学校 高志高等学校 福井大学

〔研修・実習・見学〕
 福井県立嶺南学校 仁愛女子短期大学 仁愛大学 福井県立大学

〔寄付・寄贈〕
 笠原比登美
 (ボランティア・交流・訪問)
 啓蒙ボランティア 東新保ボランティア 丸山ボランティア 啓蒙民踊クラブ 福井市赤十字奉仕団 花鳥会 福井ばら会 よつばの会 酒生写友会 幸太鼓 福井オカリナ 福井大学フィルハーモニー管弦楽団 福井農林高等学校 福井商

業高等学校 仁愛女子高等学校 啓新高等学校 北陸高等学校 福井県養育福祉課 ボランティアアカアミー 中嶋安子 鈴木陽子 山下敏子 山下敏子 諏訪八重子 中野節子 岡沢千世子 粟津純子 西来夢 野村トモエ 野路澄子
〔研修・実習・見学〕
 西来夢 辻蘭瑛 江川雄大 福井市医師会看護専門学校 福井農林高等学校 福井県立看護専門学校 福井県警察学校

〔ボランティア・交流・訪問〕
 丸山グループ マーまれーど美容室 宇都宮友美 美容室倶楽部浜田 戸崎聡美 日赤奉仕団 本多幸雄 オカリナポルテ 野阪幸雄 黒川よう子 梯洋枝 近藤由美子 高嶋政廣 野原のどか 坂川琴音 北野竜神太鼓 稲津益踊り 真城流刺時舞道 藤崎博隆 橋崎由佐々木優子 高塚まり子 松宮あさ子 江端茂子 葉竹洋子 児玉美子 横関隆 中川翔

〔研修・実習・見学〕
 福井県立大学 福井県立看護学校 福井県警察学校 金城大学

〔ボランティア・交流・訪問〕
 家接忠 山下妙子 森田守生 藤田孝瑞 大森やす子 小嵐龍夫 土田俊一 広田春美 河合眞紗子 柴田千恵子 北川賢治 八尾百合 栗田安田 下宇坂小学校 みやま保育園 美山公民館
〔研修・実習・見学〕
 宮田康平 福井県立大学
 飯不同 敬裕略

〇年度記

- おいしいもの食べて、プラス思考で頑張ります★ 木村(こ)
- 令和初の正月でした。今年こそ、健康診断に向けてダイエット頑張ります★ 天谷(つ)
- あけましておめでどうございませう。令和初の正月、いかがお過ごしでしたか？今年も幸せな一年になりませうに☆ 濱野(は)
- 今年の冬も大好きな服をいっぱい買いたいです！ 黒木(く)
- 新しいカメラで沢山の動画を撮影しに出かけたいです！ 杉本(さ)
- 楽しい一年になりますように☆ 藤川(ふ)
- 楽しい季節とあってきたので、温かいごはんを食べて体調を崩さないように気を付けます。 野路(の)
- 私事ですが、この頃、結婚することになり新しい生活がスタートします。 皆さん、何か新しいスタートはありましたか？ 羽田(あ)
- 1学が終わるのは早いですが、今年も充実した1年を過ごしたいと思います。 高橋(た)
- あけましておめでどうございませう。皆が笑顔で過ごせる一年でありませうに。 川端(か)
- 昨年買ったカメラで今年も家族の笑顔をとくさん撮ります！ 丹代(た)

社会福祉法人 足羽福祉会 <https://www.asuwafukushukai.jp/> 法人本部 福井県福井市梅野町20-7 TEL.(0776)41-3108

子ども福祉

- ・啓明児童クラブ
- ・上文殊児童クラブ
- ・足羽東こども園
- ・足羽学園
- ・子ども発達支援センター フレンズあすわ
- ・フレンズみゆき

障がい者福祉

- ・福井市障がい者基幹相談支援センター
- ・あすわ相談支援事業所リアン
- ・足羽更生園
- ・足羽ワークセンター
- ・スマイル
- ・カラフル
- ・足羽サポートセンター
- ・パステル
- ・あすわ地域生活支援センター (グループホーム14か所)

高齢者福祉

- ・福井大東包括支援センター (ほやねっと大東)
- ・愛全国
- ・足羽利生苑
- ・グループホーム美山